

## 4日 金曜

### ホセア

3:1 【主】は私に言われた。「再び行って、夫に愛されていないが姦通している女を愛しなさい。ちょうど、ほかの神々の方を向いて干しぶどうの菓子を愛しているイスラエルの子らを、【主】が愛しているように。」

3:2 それで私は、銀十五シケケルと、大麦一ホメルと大麦一レテクで彼女を買い取り、

3:3 彼女に言った。「これから長く、私のところにとどまりなさい。もう姦淫をしたり、ほかの男と通じたりしてはいけません。私も、あなたにとどまろう。」

3:4 これは、イスラエルの子らが、これから長く、王もなく、首長もなく、いけにえも石の柱もないところに、エポデもテラフムもないところにとどまるからだ。

3:5 その後で、イスラエルの子らは帰って来て、自分たちの神である【主】と、自分たちの王ダビデを尋ね求める。そして終わりの日には、【主】とそのすばらしさにおののく。

夫のもとから去って姦通し、男のもとを転々としたゴメルでしたが、結局は奴隷となってしまいました。それはまさに神様から愛されているのにも関わらず、その愛を忘れて神様から離れて行く人です。人間の常識ではそのような人に夫がまた手を差し伸べることなど考えられませんが、神様は「姦通している女を愛しなさい」と言われます。

それはまさに神様の愛だからです。神様は御自身の顔に泥を塗られるようなことをされても、赦して愛してくださいます。しかも「銀15シケケルと大麦一ホメルと大麦一レテク」という代価以上の、すなわち御自身の命という代価で、奴隷状態の私たちを買い取ってくださったのです。

主はそれはまさにイスラエルのことを考えておられるのだと明言なさいます。この後イスラエルはゴ



メルのように、主から離れて悲惨な状況に陥るからです。主はそれを見越して、回復のために、このような愛を示しておられたのです。

私たちが主のみ心から離れたとしても、主はそれを見越した上で、回復を用意しておられます。主の愛は人間の常識も、想定も、限界も超えているのです。

この主の愛に応えましょう。この愛を心に刻みましょ。ホセアのように徹底的に人を赦すことによってのみ表される主の愛があります。主の愛を表しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうホセアですか）

④この世にあって何を実践しますか？

